

【道徳・中1・「いきいきとかがやいて（C 勤労）」】①

育成を目指す資質・能力

仕事の喜びや大変さについて考えることを通して、働くことの喜びは生きがいとなることを理解し、自分の将来の生き方について考えようとする心情を育てる。

ICT活用のポイント

事前事後の結果を視覚的に共有することで実感を伴った学びにつなげる授業

【導入】事前アンケートを視覚的に捉え、問題意識を高める。

人がいきいきと輝いて働くために必要なことって何だろう。

【展開】「仕事の喜び」が人のためになっていることに気づかせるため、ペア活動や共同編集により、多面的・多角的に考える。

【終末】今までの自分を振り返り、将来のために今できることについて考えることで、自分の将来の生き方を考えるきっかけとなるようにする。

事例の概要

- 事前アンケートをテキストマイニングにより提示することで「好きなこと」や「楽しさ」を重視して職業を選択していることに視覚的に気づく。
- 展開後半で学習のめあてについてもう一度考えたことを表計算ソフトに入力し、テキストマイニングで表示し導入時に示したものと比較提示することで、授業前後の考え方の変化を感じ取れるようにする。

【事例におけるICT活用場面①】

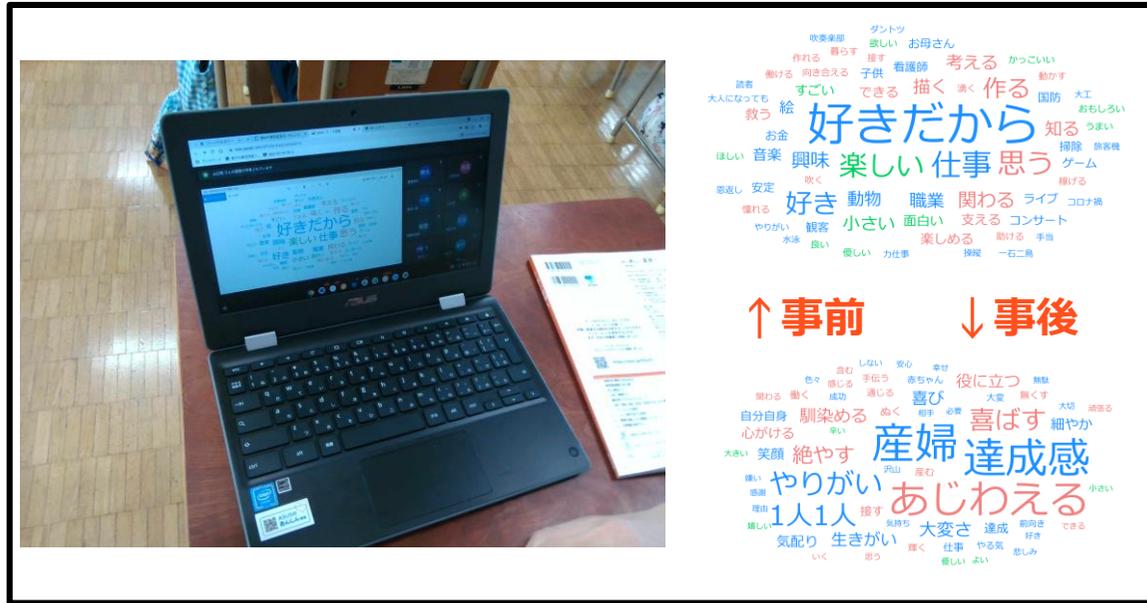
- 事前アンケートの結果をテキストマイニングにより可視化することで、道徳的な課題を自分自身の問題として考えられるようにする。

【事例におけるICT活用場面②】

- 共同編集が可能なデジタルホワイトボードを用いて、自分の考えを入力し、他者の考えも共有できるようにする。

【道徳・中1・「いきいきとかがやいて（C 勤労）」②】

【事例におけるICT活用の場面①】



導入の場面でアンケート結果をテキストマイニングで提示することで職業を選択する際の価値観を視覚的に共有した。

また、事前アンケートの結果と授業の振り返りの結果を比較することで、職業に対する価値観の変容を視覚的に感じ取ることができた。

1時間の授業で一人一人の変容を見取ることは難しいが、全体としての変容を授業の振り返りで感じ取ることができ、学びの実感を味わうことができた。職業観において、「好き、楽しい」だけではない「達成感、やりがい」等、多面的・多角的な見方につながった。

【事例におけるICT活用の場面②】



展開の場面でデジタルホワイトボードを活用することで、グループ内の考えだけでなく、他のグループの考えも共有することができ、多面的・多角的に考えることができるとともに、他者理解にもつながった。

付箋の色を変えたり、名前を入力させたりすることで、友達の考えとの共通点や相違点を視覚的に捉えることができた。

タイピングに時間がかからないように、ある程度のスキルを身に付けておく必要がある。

【活用したソフトや機能】

- ・アンケート
- ・デジタルホワイトボード
- ・表計算ソフト